



No.022

一人遊びの、甘さと苦さと バレンタインと母の小だんす

二月。寒さの中にも春の足音、そこかしこで華やぐバレンタインのチョコ売り場。

その昔、母の小だんすを覗くのが大好きだった。会津塗りの深い黒に朱色の花模様は、子供の目にも美しく映った。母が出かけると、寝室に忍び込んで引き出しをそろりと開けてみる。行儀よく息をひそめている、帯留めにかんざし達。

上から順に開けては閉め、閉めては開け、ひとつずつ手にとって、光に透かしてみたり、鏡に映してみたり。留守番中の内緒の一人遊びを、何回楽しんだことだろう。

あの日もそんなふうに、一人遊びに耽ろうと、黒く光る小だんすに忍び寄り、一番上の引き出しを開けてみた。

すると、真っ白い封筒が一通。中には手紙とチョコレートチョコレートの包み。

「いつもお留守番してくれてありがとう。
今日はバレンタインやね。よろしくおあがり。」

そのチョコレートは、指の間でとろりと溶け、口に含むとほろりと香り、甘さと苦さが心にじんわりと沁みた。

あの小だんすは、今は私の宝物。一人遊びの甘さと苦さ、母のやさしさが、引き出しにはひそやかに息づいている。

ひいさままつねひろみ (松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。
学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わる。高校時代、裏千家主催学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回裏千家ハワイセミナーに招待。京都私学ESS連盟主催英語暗唱大会優勝、英語弁論大会優勝。大学時代、世界遺産「下鴨神社」で十二単王朝舞を学び、名月管絃祭で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人きものカラーコーディネーター協会認定講師として、きもの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンサルティングを、名古屋を中心に各地で展開。きものカラーワークやセルフ和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。
Instagram→ @hiromimatsune



ひいさままつねひろみ 藤間勘萃 幻燈館

文中で紹介した動画を YouTubeでご覧いただけます。

QRコードを読み取っていただくか、「藤間バレンタイン」で検索して下さい。

ふじまかんすい 藤間勘萃

1958年に名古屋で生まれて、1977年にデビュー。
日本舞踊家(宗家 藤間流 名執)/楽師としてNHK「日曜美術館」や「花の舞・花の宴」、養老孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田舜一郎(小鼓方 大倉流15代宗家)との「秋天の興」など放送や舞台上に数多く携わる。作/編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽、名古屋芸術祭主催公演テーマ曲、関西二期会オペラ、合唱曲「弥陀観音大勢至」(深井丸 興西寺所蔵)、「おとほぎ」(あいちオカリナ フェスタ テーマ曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光壽山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部に講師。



ひいさままつねひろみ 藤間勘萃の
ホームページはこちら



4000年以上の歴史が息づく中国の首都・北京

旅で磨こう「文化力」②

日本と中国との関係は2025年、台湾を巡る高市早苗首相の発言を機に悪化の一途をたどっている。これまでも政治や経済、軍事などの摩擦などもあったが、歴史や地理的に「一衣帯水」の大局的な見地から鎮静化に向かつてほしい。紀元前2070年の夏王朝から4000年以上の歴史のある隣国の中国には20数回も訪れている。首都の北京市内へは1997年と翌年も出張で立ち寄っていたが、観光目的では日中国交正常化35周年の2007年2月に訪れた。元、明、清の三代の王朝の居城であった紫禁城内の故宮博物院を中心に主だった名所をリポートする。

王宮の魅力は收藏品以上に、壮麗な宮殿建設

1990年代後半、朝日新聞企画部在籍時、創刊120周年プロジェクトで「シルクロード 三蔵法師の道」に取り組み、展覧会を軸に、学術調査や国際シンポジウムに取り組んでいた。玄奘が天竺・インドへ旅した長安の都があったのは西安で、展覧会への出品交渉や、シルクロードのオアシス敦煌訪問もあって、何度も北京空港に立ち寄っていたが、経由地に過ぎなかった。

北京の観光は、約10年の歳月が流れ、定年後となった。2007年2月に故宮博物院を再訪した。故宮の魅力は收藏品以上に、壮麗な宮殿建設だ。皇室ゆかりの黄色の琉璃瓦に朱色の壁のいくつも建物を、見ながら、玉座のある太和殿にたどり着いた。



紫禁城内の故宮博物院の全景
(現地の観光パンフレットより)

そもそも故宮とは、故(もと)の宮城という意味があるそうだ。東西750メートル、南北960メートルで、その広さは72万平方あり、部屋数は9000以上という。何しろ24人の皇帝が約500年にわたって統治した居城なのだ。

城壁の四周にそれぞれ一門があり、南の午門が正門としてとくに雄大で、北に神武門、東に東華門、西に西華門が開き、四隅に角楼(かくろう)がある。1998年時は午門と呼ばれる正面入口からだった。2007年時は北側の神武門から入った。ここは2006年10月から修復工事中で、故宮博物院の看板を残しネットに覆われていたが、安全措置を施しており、門を

くぐることができた。

翌2008年10月の北京オリンピックを控え、市内各所は建設ラッシュだった。故宮でも、皇室儀式があった太和殿など主要な宮殿建築で大規模な修復工事が行われていた。ネットの裏には実物の写真が取り付けられており、遠くから見れば実物が透けて見えるようだった。修復のため所蔵文物も一部しか見ることができなかった。

紫禁城は、皇帝が公務を行った「外朝」と、皇帝が生活した「内廷」に大きく分かれている。外朝は公的な場所、主に式典や重要な行事が行われ、午門から北へ太和門、太和殿、中和殿、保和殿が中軸線上に並び、

壮大な紫禁城の一部が博物院となっている。フランスのルーヴル博物館やロシアのエルミタージュ美術館と同じように、かつての宮殿を活用しているが、故宮博物院はいくつも建物に展示室があつて、陶磁や青銅器、絵画や書画、工芸館などが散在していた。

さて博物院を回っていて気を止めたことがある。鐘表館を入った右手の建物内では、書画骨董を観光客に販売していたのだ。聞くところによると、これは博物館の直営の店舗で、買い上げには博物館の鑑定書も付くという。その売上金は修復費のチャリティーになるそうだ。故宮敷地内では、修復費の一部にと近現代の美術品の即売をしていた。中国では最近、日本から美術品を買い戻す動きも活発になっている。

故宮から広大な天安門、大中国を実感

太和殿から太和門、そして金水橋を渡り、午門をくぐり、明時代の正門である天安門を出ると、眼前に広大な天安門広場が望めた。背後を振り返ると、門口上部に毛沢東の大きな肖像画が掲げられている。広大なスペースを見ていると、2006年に訪れたモスクワの赤の広場を思い出した。その設計思想を凝らしたのかどうか、赤の広場を圧倒する100万人が収容できるという規模で、巨大な国であることを実感させられてしまう。天安門からの眺めは周囲三方に人民大会堂、毛主席記念堂・中

朝が統治した紫禁城の故宮博物院や万里の長城

国家博物館の建物が配置されている。

天安門と言えば、この広場で1989年6月4日に民主天安門広場化を求める学生や市民に対して中国人民解放軍が武力を行使し、多数の死傷者を出した事件を思い起こす。民主化を理解を示していた胡耀邦元総書記の死をきっかけに、学生や市民が天安門広場に集まり、民主化や言論の自由を求めて10万人を超える人々が参加しデモを行った。これに対し、中国政府はデモを「動乱」とみなし、戒厳令を布告。中国人民解放軍が広場を占拠していたデモ隊に対し、銃器や装甲車を用いて武力で鎮圧した。

事件後、民主化運動に寛容な姿勢を見せた趙紫陽総書記は解任され、自宅軟禁下に置かれた。江沢民が新たな総書記に就任し、共産党一党独裁体制が維持された。日本を含む西側諸国は中国を厳しく批判し、経済制裁を課した。



故宮博物院から歩いて天安門広場へ

「万里の長城は丘を、見逃さない胡同」

「万里の長城はエジプトのピラミッドと並び、人類が築いた古代の建造物として、心待ちにしている。中国北部を東西に横断する世界最大級の防御施設で、総延長は約21,166.18キロに及ぶ。紀元前7世紀に築かれ始め、秦の始皇帝が各地で築かれた城壁をつなぎ合わせ、現在の形は明代に整備された。1987年には世界文化遺産に登録されている。数キロ歩いてみたが、遠くから眺めると、急勾配があつてきつい。よくぞ人の労力を使って造つたものだ」と感心し

つ、「争うことから守る」という壮大な無駄と思わずにいられた。

このほか、紫禁城と並び北京のシンボルとされる中国最大の祭祀木造建築である「天壇」(1998年に世界遺産に登録)と「天壇の皇乾殿」や、2006年に世界遺産に登録された「明の十三陵」、皇室の庭園「頤和園(いへん)」や、チベット仏教寺院群の「雍和宮」などを見学した。いずれも中国ならではの悠久の歴史をしのばせるスケールを満喫した。さらに、北京原人の遺跡、周口店や、日中戦争勃発の地「盧溝橋」などにも足を延ばした。



延々と続く「万里の長城」

最後に、市街地から路地に足を踏み入ると、7000以上あると言われる「胡同(フートン)」のことを触れておきたい。天安門の近くに、西は天安門広場東路から東は崇文門内大街に至る全長1552メートルの胡同がある。東交民巷と呼ばれる、北京で最長の胡同だ。

東交民巷は、大使館、教会、銀行、公館、クラブなどが統合されたヨーロッパ風の街区で、道の両側は異国情緒のある建築物が建つ。前が店舗、裏が住居の形態は、深みのある街の風情と濃厚な昔の北京の特色を表している。煙袋斜街は、観光客が暇な時おいしい食べ物を探したり、骨董を見たリ、書画や古い建築物を鑑賞したりする魅力的な下町風情だ。

しかし、10年にわたった「文化大革命」で、胡同に残されていた貴重な数多くの歴史、文化遺産は破壊され、そして1978年に始まった改革開放。多くの胡同はブルドザーで跡形もなく壊されてしまし、跡地にモダンな高層ビルが屹立するなど、北京は大きく変貌したのだ。

大都市・北京は年々ますます勢いで近代化や都市化が進んでいる。その中であつて、時代から取り残されたような古色蒼然の胡同はぜひとも行かねばならぬ所であろう。胡同は北京の古を繋ぐ道だけではなく、庶民の日常生活の場所、歴史文化変遷の舞台でもある。おびただしい数の胡同が故宮の周囲に張り巡らされている。ほとんどは元、明、清の三つの時代につくられた。北京は新時代のパワートともに、いつまでも伝統文化の息づく街であつてほしい。



白鳥 正夫プロフィール

1944年8月14日愛媛県新居浜市生まれ。中央大学法学部卒業。朝日新聞社定年退職後は文化ジャーナリスト。著書に『絆で紡いだ人間模様』『シルクロードの現代日本人列伝』『新藤兼人 未完映画の精神』『幻の創作ノート』『太陽はのぼるか』『アート鑑賞の玉手箱』『夢をつむぐ人々』など多数

この指とまれ (359) 氏原朝信

昭和56年度常滑西小学校一年一組「なかよし」

かぜ注意報??

「なかよし」(1月22日付)

「今日ね一組は九人も休んだんだよ。」と子どもが帰るなり、お母さんに報告しているのではないだろうか。18日(月)から21日(木)まで、19日が七名でそれ以外の三日間は九名の子が発熱で欠席しました。症状は、高熱と頭痛です。教室では、日頃から予防として窓開けをしたり、上着の着脱をさせたり、手洗

「なかよし」(2月2日付) 1月18日から30日まで二週間で発熱、頭痛など流感による欠席者は延べ百十一名でした。しかし、その中で休まずに登校できた子が十名(名前略)もいました。心から拍手を贈ります。治つたなと思つて学校に来ていて具合が悪くなり

「混雑している所へ連れて行かない」「風邪気味のときは外出をさけ、家で暖かくしておく」「発熱や風邪気味の場合、安静にし、学校には来させない必ず全快してから学校に来させてください。(略)

かぜに強い子

「なかよし」(2月9日付) 2月6日(土)、全員(44名)が元気な姿を見せてくれました。職員室の欠席状況表(黒板)は、男女とも0(ゼロ)になりました。

学級の朝の会では欠席者が0になったということで拍手して喜び合いました。8日(月)も欠席者0でゼロの学級は一年一組だけでした。(略)

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 台湾まぜそば

寒い季節に、五香粉のスパイスや薬味で体を温め風邪予防多彩な食材と濃厚なビリ辛肉みそを豪快に混ぜて食べてくださいね♪

【2人分】	
A	サラダ油.....大さじ1
	生薑.....大さじ1弱
	胡麻油.....大さじ1弱
	にんにく.....大さじ1弱
B	玉ねぎ.....1/2個
C	ひき肉.....150g
D	ザーサイ.....20g
E	豆板醤.....小さじ1
	酒.....30cc
	醤油.....20cc
	砂糖.....大さじ1
F	水.....30cc

G	棒ラーメン.....146g
	鶏ガラスープのもと.....小さじ2
	胡麻油.....小さじ2
	ラー油.....お好みの量
H	花椒パウダー.....1ふり
I	五香粉.....5ふり〜
J	(トッピング)
K	もやし.....1袋
L	ニラ.....お好みの量
M	卵.....2個
N	海苔.....お好みで



- 準備...棒ラーメン用のたっぷりの湯を沸かしておく。器を熱湯に浸し温めておく。
- 作り方
- フライパンにAを入れ、中火にし蓋をして加熱する。香りが立ってきたらBを加え蓋をし、弱火で加熱する。
 - ①の玉ねぎが半透明になったら、Cを加え強火にし肉に火を通し、Dを加え全体に手早く炒める。
 - ②にEを加え入れ、沸騰したら蓋をして弱火にし、汁が半分になるまで煮詰める。
 - ③のラーメンを茹でる(袋裏メーカ指示による)。軽く湯切りし、Fを加え全体に手早く炒める。
 - ④にGを加え入れ、沸騰したら蓋をして弱火にし、汁が半分になるまで煮詰める。
 - ⑤にHを加え入れ、沸騰したら蓋をして弱火にし、汁が半分になるまで煮詰める。
 - ⑥のラーメンを茹でる(袋裏メーカ指示による)。軽く湯切りし、Fを加え全体に手早く炒める。
 - ⑦のラーメンを茹でる(袋裏メーカ指示による)。軽く湯切りし、Fを加え全体に手早く炒める。
 - ⑧のラーメンを茹でる(袋裏メーカ指示による)。軽く湯切りし、Fを加え全体に手早く炒める。
 - ⑨のラーメンを茹でる(袋裏メーカ指示による)。軽く湯切りし、Fを加え全体に手早く炒める。
 - ⑩のラーメンを茹でる(袋裏メーカ指示による)。軽く湯切りし、Fを加え全体に手早く炒める。



知多の新鮮たまご
発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ塚380
TEL0569-73-6341

常滑の町で自然と共に眠る 東龍寺 墓地 大阪屋樹木葬常滑北

誠意を込めて安心のお手伝い
大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール リビング常滑 リビング常滑北
TEL0569-35-4949
大阪屋葬祭 | 検索

常滑市民文化会館
ホール
▼第9回市民公開講座 映画上映会「八日」開演 午後二時
▼「一回」開演 午後二時
▼「二回」開演 午後二時
▼「三回」開演 午後二時
▼「四回」開演 午後二時
▼「五回」開演 午後二時
▼「六回」開演 午後二時
▼「七回」開演 午後二時
▼「八回」開演 午後二時
▼「九回」開演 午後二時
▼「十回」開演 午後二時
▼「十一回」開演 午後二時
▼「十二回」開演 午後二時
▼「十三回」開演 午後二時
▼「十四回」開演 午後二時
▼「十五回」開演 午後二時
▼「十六回」開演 午後二時
▼「十七回」開演 午後二時
▼「十八回」開演 午後二時
▼「十九回」開演 午後二時
▼「二十回」開演 午後二時
▼「二十一回」開演 午後二時
▼「二十二回」開演 午後二時
▼「二十三回」開演 午後二時
▼「二十四回」開演 午後二時
▼「二十五回」開演 午後二時
▼「二十六回」開演 午後二時
▼「二十七回」開演 午後二時
▼「二十八回」開演 午後二時
▼「二十九回」開演 午後二時
▼「三十回」開演 午後二時
▼「三十一回」開演 午後二時
▼「三十二回」開演 午後二時
▼「三十三回」開演 午後二時
▼「三十四回」開演 午後二時
▼「三十五回」開演 午後二時
▼「三十六回」開演 午後二時
▼「三十七回」開演 午後二時
▼「三十八回」開演 午後二時
▼「三十九回」開演 午後二時
▼「四十回」開演 午後二時
▼「四十一回」開演 午後二時
▼「四十二回」開演 午後二時
▼「四十三回」開演 午後二時
▼「四十四回」開演 午後二時
▼「四十五回」開演 午後二時
▼「四十六回」開演 午後二時
▼「四十七回」開演 午後二時
▼「四十八回」開演 午後二時
▼「四十九回」開演 午後二時
▼「五十回」開演 午後二時
▼「五十一回」開演 午後二時
▼「五十二回」開演 午後二時
▼「五十三回」開演 午後二時
▼「五十四回」開演 午後二時
▼「五十五回」開演 午後二時
▼「五十六回」開演 午後二時
▼「五十七回」開演 午後二時
▼「五十八回」開演 午後二時
▼「五十九回」開演 午後二時
▼「六十回」開演 午後二時
▼「六十一回」開演 午後二時
▼「六十二回」開演 午後二時
▼「六十三回」開演 午後二時
▼「六十四回」開演 午後二時
▼「六十五回」開演 午後二時
▼「六十六回」開演 午後二時
▼「六十七回」開演 午後二時
▼「六十八回」開演 午後二時
▼「六十九回」開演 午後二時
▼「七十回」開演 午後二時
▼「七十一回」開演 午後二時
▼「七十二回」開演 午後二時
▼「七十三回」開演 午後二時
▼「七十四回」開演 午後二時
▼「七十五回」開演 午後二時
▼「七十六回」開演 午後二時
▼「七十七回」開演 午後二時
▼「七十八回」開演 午後二時
▼「七十九回」開演 午後二時
▼「八十回」開演 午後二時
▼「八十一回」開演 午後二時
▼「八十二回」開演 午後二時
▼「八十三回」開演 午後二時
▼「八十四回」開演 午後二時
▼「八十五回」開演 午後二時
▼「八十六回」開演 午後二時
▼「八十七回」開演 午後二時
▼「八十八回」開演 午後二時
▼「八十九回」開演 午後二時
▼「九十回」開演 午後二時
▼「九十一回」開演 午後二時
▼「九十二回」開演 午後二時
▼「九十三回」開演 午後二時
▼「九十四回」開演 午後二時
▼「九十五回」開演 午後二時
▼「九十六回」開演 午後二時
▼「九十七回」開演 午後二時
▼「九十八回」開演 午後二時
▼「九十九回」開演 午後二時
▼「百回」開演 午後二時

あなただけのギャラリー
▼令和7年度愛知県立常滑高等学校 セラミックアーツ科卒業制作展(五・六・七・八日)開演 午後二時
▼「五回」開演 午後二時
▼「六回」開演 午後二時
▼「七回」開演 午後二時
▼「八回」開演 午後二時
▼「九回」開演 午後二時
▼「十回」開演 午後二時
▼「十一回」開演 午後二時
▼「十二回」開演 午後二時
▼「十三回」開演 午後二時
▼「十四回」開演 午後二時
▼「十五回」開演 午後二時
▼「十六回」開演 午後二時
▼「十七回」開演 午後二時
▼「十八回」開演 午後二時
▼「十九回」開演 午後二時
▼「二十回」開演 午後二時
▼「二十一回」開演 午後二時
▼「二十二回」開演 午後二時
▼「二十三回」開演 午後二時
▼「二十四回」開演 午後二時
▼「二十五回」開演 午後二時
▼「二十六回」開演 午後二時
▼「二十七回」開演 午後二時
▼「二十八回」開演 午後二時
▼「二十九回」開演 午後二時
▼「三十回」開演 午後二時
▼「三十一回」開演 午後二時
▼「三十二回」開演 午後二時
▼「三十三回」開演 午後二時
▼「三十四回」開演 午後二時
▼「三十五回」開演 午後二時
▼「三十六回」開演 午後二時
▼「三十七回」開演 午後二時
▼「三十八回」開演 午後二時
▼「三十九回」開演 午後二時
▼「四十回」開演 午後二時
▼「四十一回」開演 午後二時
▼「四十二回」開演 午後二時
▼「四十三回」開演 午後二時
▼「四十四回」開演 午後二時
▼「四十五回」開演 午後二時
▼「四十六回」開演 午後二時
▼「四十七回」開演 午後二時
▼「四十八回」開演 午後二時
▼「四十九回」開演 午後二時
▼「五十回」開演 午後二時
▼「五十一回」開演 午後二時
▼「五十二回」開演 午後二時
▼「五十三回」開演 午後二時
▼「五十四回」開演 午後二時
▼「五十五回」開演 午後二時
▼「五十六回」開演 午後二時
▼「五十七回」開演 午後二時
▼「五十八回」開演 午後二時
▼「五十九回」開演 午後二時
▼「六十回」開演 午後二時
▼「六十一回」開演 午後二時
▼「六十二回」開演 午後二時
▼「六十三回」開演 午後二時
▼「六十四回」開演 午後二時
▼「六十五回」開演 午後二時
▼「六十六回」開演 午後二時
▼「六十七回」開演 午後二時
▼「六十八回」開演 午後二時
▼「六十九回」開演 午後二時
▼「七十回」開演 午後二時
▼「七十一回」開演 午後二時
▼「七十二回」開演 午後二時
▼「七十三回」開演 午後二時
▼「七十四回」開演 午後二時
▼「七十五回」開演 午後二時
▼「七十六回」開演 午後二時
▼「七十七回」開演 午後二時
▼「七十八回」開演 午後二時
▼「七十九回」開演 午後二時
▼「八十回」開演 午後二時
▼「八十一回」開演 午後二時
▼「八十二回」開演 午後二時
▼「八十三回」開演 午後二時
▼「八十四回」開演 午後二時
▼「八十五回」開演 午後二時
▼「八十六回」開演 午後二時
▼「八十七回」開演 午後二時
▼「八十八回」開演 午後二時
▼「八十九回」開演 午後二時
▼「九十回」開演 午後二時
▼「九十一回」開演 午後二時
▼「九十二回」開演 午後二時
▼「九十三回」開演 午後二時
▼「九十四回」開演 午後二時
▼「九十五回」開演 午後二時
▼「九十六回」開演 午後二時
▼「九十七回」開演 午後二時
▼「九十八回」開演 午後二時
▼「九十九回」開演 午後二時
▼「百回」開演 午後二時

美の回廊

Vol.78

水野 伊津子 「ベトナム旅行記②」

避暑地サパへ。

昼食を食べると今度はまたラオカイまで戻り、トランクを積んでサパの街へ向かう。私たちがベトナムを訪れる10日ほど前に台風24号がベトナムを襲い北部を中心に、がけ崩れや洪水が発生し、村人8人が亡くなっている。行く前に、旅行社からはその話がなかったので大丈夫だろうと思っていたが、いざサパの街へ山道を走りだすと所々にがけ崩れの跡や小さな川が氾濫して泥だらけになった街を通った。新しくかけられた橋は、崩れた土砂によって通行止めになっていた。回り道をして旧道を走る。すると大渋滞が発生していた。片側交互通行かと思っていたが、なんとトラックが横倒しになっている。これは抜けるのに何時間かかるのだろうと思っていると、小型のクレーン車が車体を斜めに持ち上げた状態で片側交互通行できるようにしてくれた。日本では絶対ありえない応急処置である。そんなこんなで2時間ほどでサパの街に着く。そんなに広くない道路を入っていくと、こんな山奥にあるとは思えない美しい街が広がっていた。ヨーロッパ風の建物群が並んでいた。話を聞くと、サパはフランス領だった時、避暑地としてフランス人が開拓した街だった。(写真①②) フランス領の建物は、クリーム色に塗られているのですぐわかる。一見ヨーロッパに迷い込んだような感覚だった。欧米人の観光客が多く、日本人にはお目にかかるなかった。荷物を置いて、すぐ自由時間、夕方、6時まで自由に散策した。絵を描きに道具を持って走り出した。スケッチポイントを見つけると、いざ描こうとするとスケッチブックを忘れていた。これには自己嫌悪。諦めてホテルに戻り手ぶらでぶらぶらすることにした。民族衣装の子の写真を撮らしてもらったり、お土産屋さんを冷やかしたりした。(写真③④) 夕飯は最上階のテラスのあるレストラン。

10月20日、3日目

朝9時3台のバスに分かれて出発、世界一と言われる美しい棚田を描きに行く。(写真⑤) 困ったのは現地添乗員の思う美しさと私たちが描きたい美しさが違うということだった。案内されても気に入らない。そんなことが何度も繰り返されて。彼が落ち込んでしまった。トイレもない。飲み物もない状態で18人が絵が描けないいらだち。海外に行ってスケッチポイントを探して走り回るのはざらなこと。今回の旅はスケッチポイントまで移動しなければならぬのがタイムロスだった。それも18人そろって、テラスのある喫茶店を探してそこで私は棚田と水牛を入れて、1枚。ここでベトナムコーヒーを初体験した。濃いコーヒーにあま〜い練乳を溶かして飲むのだがこれにはまいりました。1口飲んだだけで水で薄めた。昼食のバインミー(ベトナムのサンドイッチ)は期待していたが、日本の方がおいしかった。それより何より感動したのは観葉植物たちの美しさ。フィロデロン、モンステラ、クワズイモ、ストレリチア、ガジュマル、シュブレラ、フィカス各種。まあ今流行っている。観葉植物たちが東南アジアから来ているのだから無理は無い。(写真⑥) そこで2枚ほどスケッチ。その後少数民族の村を訪ねる。昔のままの住居を見て歩く。スレート屋根レンガ作りの壁、車やバイクは走っている。角のコンビニらしき店には生きた、鶏、野菜、菓子生活雑貨、遠くまで行かなくてもその日に必要なものは手に入る。小学校にはたくさんの子供たちがいた。しかし絵になるところはなくて場所を移動した。街に戻る前に、サパで1番大きな市場、に寄ってくれた。この2階で、この地方で暮らす少数民族の民族衣装を手に入れた。サパの街まで戻って、モノレールの走るホテルの屋上に陣取った、ここで1枚。ホテルに帰って同行のYちゃんに民族衣装を着せてみた。可愛くて、この衣装のまま夕食会場に向かう。(写真⑦) みんな大絶賛。帰るまでに一同でデッサン会を開けるといいなあ。なんて思っていたが、これから先だんだん疲労が蓄積していく。

ベトナムスケッチ(写真⑧)

少数民族の暮らし

子供は二人まで決められている。食費扶持の問題らしい。小学校は村にあれば通えるが給食が出ないので2部制、午前の部の子どもと午後の部の子どもに分かれる。教師はずっと教え続けてけっこう大変らしい。中学は遠いと通えないのでたいていは小学校卒業である。ネパールでもインドでも子どもは英語が通じたが、ベトナム北部ではほとんど通じなかった。教育を受けられていないということ、識字率も低い。女の子どもは15、6歳で結婚する。ある民族では略奪婚も現存していて、気に入った女の子を連れてきて家に入れちゃう。そして受け入れられれば成立である。ベトナムには年金制度がごく限られた人しか受け取れていない(2025年7月からは未加入の老人でも手当がもらえる)なので、自然と大家族が多い、一緒に暮らせばそれだけかかる費用は少ないということだ。小さいころから家の労働力として働いているので、ベトナムの人は長生きしない。日本の老人は元気ですとガイドさんに言われてしまった。ベトナムの人は70過ぎたら動かせませんよ。日本は社会保障もある。世界一長生きで世界一清潔で世界一美味しいものがある国、海外に出ると普通だと思っているものには難みを感じる。



写真①



写真②



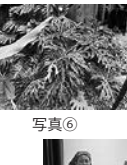
写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



日々是好日

「ワクチン接種でいろいろ」

自分自身の「健康でありたい」という思いに添えて、带状疱疹ワクチン接種を受けた。知り合いの知り合い、友達、友達が带状疱疹になって、痛みが続く、後遺症がタインミと声が出るかなあ」と不安になった。それでも、いつしか眠りについてたよう。ただ、朝、起き上がると、両腕両足が、運動したわけでもないのに、結構な筋肉痛を感じた。「コレ、ヤバくない?」全身のダルさもあって、ワクチン接種を後悔した。治らない事ばかり考えて気持ち沈んだ。2日経つても体調は芳しくない。いよいよ私も「若いつもり」が通用しなくなつたんだな、と老いを認めた。

接種後3日。なんとも違和感なく、元気な体調に戻った。やっぱり私は丈夫いんだな。年明けた1月に、母は増してた。それでも3回しか接種してない。身近に体の異変が起こった人がいたりしたからだ。今回の带状疱疹ワクチンを打ったその夜、喉が熱くなり、目が覚めた。「朝ちゃんと声が出るかなあ」と不安になった。それでも、いつしか眠りについてたよう。ただ、朝、起き上がると、両腕両足が、運動したわけでもないのに、結構な筋肉痛を感じた。「コレ、ヤバくない?」全身のダルさもあって、ワクチン接種を後悔した。治らない事ばかり考えて気持ち沈んだ。2日経つても体調は芳しくない。いよいよ私も「若いつもり」が通用しなくなつたんだな、と老いを認めた。

応募

日々の生活の中でチョットしたこんな事・あんな事・心とむ事、面白いエピソード等この欄へどしどし応募してください。(原稿用紙2枚程度)

応募先:あかい新聞 武豊店(郵送またはFAXにて)
住所:知多郡武豊町字金下37番地
TEL:0569-72-0356
FAX:0569-72-6002

ハマグリー姫

「八咫鳥くんは元気にしているよ」



「八咫鳥くんは元気にしているよ」
「うん、知ってるよ」
おじいちゃんとおばあちゃんとの会話だ。八咫鳥は導きの神さまだよ、おじいちゃんとおばあちゃんに教えてあげたよ。何で僕が八咫鳥を知っているかという、サッカード日本代表のマークだからだよ。僕、サッカードから八咫鳥はいつも見えているよ。サッカードの間で人気の八咫鳥をモチーフにしたマスコットキャラクターがいるよ。お正月に3つ目が仲間入りしたよ。そのキャラクターに似ているマスコットのお守をおばあちゃんからもらったよ。少しポチャッとした、ぬいぐるみだよ。八咫鳥くんは元気にしていますか?」

「八咫鳥くんは夜のご飯を食べまいますか?」「八咫鳥くんはお風呂に入っていますか?」
毎日言っている人がいるんだよ(笑)(笑)(笑)「毎日お風呂に入れたまいるにしているよ」と言っておいたよ。毎日「おはよう」と声を掛けて、一緒に学校に通っているよ。
今年はサッカードワールドカップがあるから楽しみだよ。6月はテレビ観戦で忙しくなりそうだよ。
サッカード恒例の初蹴りをしましたよ。サッカードのみんなが集まって賑やかだったよ。先輩も来てくれたよ。先輩に久しぶりに会え、みんな喜んでたよ。先輩も久しぶりにサッカードを楽しんでいたよ。初蹴りを楽しんだあと、豚汁を食べたよ。みんな食べる豚汁は格別だね。お肉がたくさん入った、美味しかったよ。サッカードをした後は、いつも豚汁が出るというなあ心も体も温かい気持ちになるからいいなあ、思いながら、数日後からの新学期も気を入れ頑張ろうと誓ったよ。3学期も盛り上がるよ。

(R)

若竹俳壇

作品募集
毎月10日までに葉書で
発行所へ

寄せ鍋や昔話しを湯気越しに
午年や初釜茶碗の左馬
人波の上を揺らぐや大熊手
着ぶくれてフレイル予防の散歩かな
さればとて年は重なる寒椿
元旦に夜勤帰りと初出勤
初夢や亡夫満面の笑みなりし
吾子からの年玉三色ボールペン
年賀状今年仕舞いの多きこと
正月はみんな初もの初葉
山茶花の花びら堰となりけり
へいを来る猫と目が合う日向ぼこ
穏やかな日々を願ひし初日の出
春連れて若き庭師や高き木へ
おかめ顔笑みふくらむや年賀状
浅草寺紫煙にくすむ冬紅葉
年始酒家族と友と酔い
鏡餅特大かつぎ熱田の森
新聞を斜め読みして寝正月
誰かから来たら返そう年賀状
焼き諸の袋抱へて娘来る
寒椿輪袈裟一行振り向かず
実千両大和の宿の起伏かな
元日や起き抜けに窓開け放つ
弟と保険の話年の暮
逆縁の嫁御従容屠蘇酌める
婿に出す大盛り飯と根深汁
佐布里梅うらら春くるおすそわけ

中村 泉
谷川と志江
古川 義高
細井かね子
塚本 千鶴
山下みどり
大津くによ
浦崎ひとみ
杉江 タエ
細川 静代
中村 照代
村井 範子
川瀬美佐子
竹内 佳香
竹内やす子
飯嶋美智子
荒川 達雄
日比 道生
田上 義則
竹内あつ子
山下 敏子
榎野 侃
小山 英子
山本なづな
坂 靖久
山下 悠児
岩橋 くみ
中村 洋子

月未まで改装工事のためイベントはありません
◎知多市こども未来館
午前10時〜午後5時 対象
どなたでも
一日(日) 二月二十八日(土)
おだいらさま・おひなさまを
作って、ひなまつりの季節を楽しみます。 一個 二百四十円
▼フチマルシェ
ファミリ劇場と同日開催
キッチンカーの出店があります
発売日 二月七日(土) 発売
完全自由席
◎武豊町立図書館
えほんのせかいで はいつ
ちえん☆一日(日) 午前10時
半〜正午 対象 〇二歳の
お子さんがいるご家庭 定員
七家族 持ち物 スマート
フォン、カメラ等の撮影機器
申込要
◎武豊中央公民館
笑顔でつながる仕事と子育て
で無遅れず続けるためのコ
ミュニケーション講座 五日
(木) 午前10時〜同11時
半 対象 子育て中の親
講師 横田安司さん(株式会社
社ジャパコンミューション
トレーニング協会) 定員
十二人 料金 無料 申込要
▼手作りバレンタイン 七日
(土) 午前10時〜正午 講
師 渡邊志麻さん(フエア
ンコー) 対象 親子(小
学生) 定員 六組 料金
三千七百円(材料費を含む)
申込要
▼手作りみそ教室 選んでみ
そ作り(妻みそと米みそ) 八日
(日) 午前10時〜正午 講師
中川安憲さん(中定商店)
対象 一般 定員 二十名
料金 容器付き 八千三百
円 容器無し 七千円(材料
費を含む) 申込要
▼薬膳茶の教室 十日(火)、
十七日(火) 午後一時半〜
同三時 講師 西山杏実さ
ん(漂香茶館) 対象 一般
定員 十二人 料金
二百五十円(材料費を含む)
申込要
▼わかしらのひな菓子
こしものづくり教室 二十一日
(土) 午前九時半〜正午 対
象 定員 二十名
※小学三年生以下のみ参加
には、保護者の申込みが必要
料金 一人 四百円 講師
食育健康づくりグループ
持ち物 エプロン、持ち帰り
用容器 飲み物、ラップスリッ
パまたは上履き 申込要
▼現役家事代行が教える
デリ風おかず 二十八日(土)
午前10時〜正午 講師 井戸
辺由梨さん 対象 一般 定
員 八人 料金 二千二百円
(材料費を含む) 申込要
◎武豊町民会館
ゆめたるふラザ
▼武豊町民会館「K&O
JOU」2025年度定期公演
作品 After Judgment 地獄
の間魔帳 ②七日(土) 午後
七時開演 ③八日(日) 午
後三時半開演 料金 前売
一般 三千八百円 中学生以
下 二千円 中学生以下 千五百

円 ※三歳未満入場不可
▼文化のまちづくりセミナー
第十六集まり 子どものために
みんな集まれ 一人ひとりが
おとなで学ぶ 一人ひとりが
尊重されるために子どもも
権利つよに考えよう子ども
たちの今 二十一日(土) 午
後二時開演 講師 原京子さ
ん(一般社団法人子どもアド
ボカシーセンター NAOYA理
事) 入場無料 全席自由
申込要
◎長尾児童館
糸掛けまんだらに挑戦しよ
う 十五日(日) 午後二時
同三時半 申込要 ※大人の
みの参加もOK
▼わんぱくクラブ 五日(木)、
十九日(木) 午前10時〜正
午 申込不要
◎くすのき児童館
豆まき会 一日(日) 午後
二時〜同三時 申込要
おひな様を作ろう 十一日
(水祝) 午後二時〜同三
時 申込不要
▼わんぱくクラブ 五日(木)、
二十六日(木) 午前10時
同11時半 申込不要
◎おおし児童館
豆まき会 一日(日) 午後
二時半〜同三時半 申込不要
▼わんぱくクラブ 十九日
(木) 午前11時〜同12時
半 申込要
◎富貴児童館
けん玉検定会 十一日(水・
祝) 午前10時半〜午後三時
申込不要
▼ハンバーガー屋さんになろ
う 二十八日(土) 午前10時
半〜同11時半、午後二時半
〜同2時半 申込不要
◎半田空の科学館
▼プラネタリウム新番組「ち
びまる子ちゃん・南十字星に
魅せられて」土日祝の午後一
時半〜約五十分間 対象 ど
なたでも 参加費 三歳〜中
学生 二百円 高校生以上
五百円
▼プラネタリウムヒーリング
番組「アルテミスの鍛冶場」
三月十二日(木)の間の毎週
木曜日午後二時半〜同三時
対象 一般 参加費 三歳〜
以上 中学生 一百円 高校生
以上 二百二十円 定員
二百名(当日先着順)
▼冬の企画展「第四回みんな
の空」写真展 三〇日(土) 午前
九時〜午後五時 対象 ど
なたでも 参加費 無料
問合せ 半田空の科学館
23-17175
アフガンを甦らせた中村哲
医師から学ぶ菩薩道の時
話 二十日(金) 午後二時
〜同四時 講師 久田健吉
(哲学研究者) 場所 満寛
寺(常滑市市場町) 35
2735 駐車場有り 会
費 三百円(資料代等)
問合せ 久田健吉 82-
0826



人・社会へ“想い”を
広告・デザインで伝える会社

1886(明治19)年創業。地域とともに140年。
HCP Human Communication Partners
半田中央印刷株式会社

〒475-0032
愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 FAX 0569-29-4500
<https://www.handa-cp.co.jp>

知多四国めぐりのお供にどうぞ

納経帳をはじめ、弘法参りの関連書籍を販売しています。お電話にてお問い合わせください。ネットでもご購入いただけます。

訪問集金でお支払いの購読者の皆様へ

毎月のお支払いは

口座自動振替への変更をお願いします

口座自動振替のメリット

- メリット1** 毎月決まった日に引き落とされるからお金の管理がラク!
- メリット2** 忙しい時間に手間を取らない!
- メリット3** 不要な対面を避けられる!

ご利用可能な金融機関

- ・JAバンク・三菱UFJ銀行
- ・ゆうちょ銀行・半田信用金庫
- ・知多信用金庫

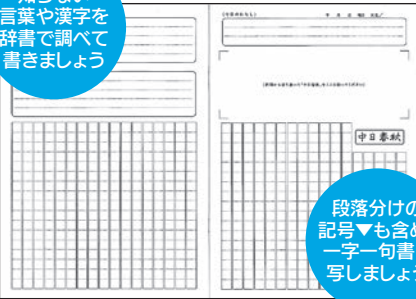
お申し込みはあかい新聞店まで!

中日新聞
あかい新聞店 武豊 0569(72)0356
常滑 0569(35)2861

中日春秋書き写し・新聞ちぎり絵 始めませんか?

中日春秋書き写し

知らない言葉や漢字を辞書で調べて書きましょう



段落分けの記号▼も含め、一字一句書き写しましょう

書き写しノートは中日春秋を「書き写す」だけで、読解力・語彙力・集中力・注意力がアップします。
A4サイズで68ページ、1冊でちょうど1ヶ月分の中日春秋を書き写すことができます。

中日春秋書き写し専用ノート発売中!

1冊 (1ヶ月分) **143円** (税込)

新聞ちぎり絵



新聞ちぎり絵は新聞のカラー紙面を使い、指でちぎって貼りつけて絵を描くものです。
身近な材料で和紙のような風合いと、味わいある作品をつくることができます。
世界に一つだけのオリジナル作品をつくってみませんか?

10種のオリジナル下絵を収録したポストカードブックも発売中!

1冊 **300円** (税込)

お求めはあかい新聞店まで
武豊店 0569-72-0356 常滑店 0569-35-2861

いっしょに あかい新聞店で 働きませんか!

スマホからのお問合せは
コチラ▶



業務内容	新聞配達
勤務時間	AM3:00~AM6:00内 ご希望の1.5時間程度
勤務日数	週2日~
給与	30,000~70,000円



自転車またはバイクで新聞の配達をするお仕事です。
毎日同じところに配達していただくので、どなたでも簡単にできます。
未経験者大歓迎! 親切丁寧にお教えします。



中日新聞
あかい新聞店 詳細は **担当 赤井** まで
気軽に
武豊 0569(72)0356 常滑 0569(35)2861